

## メディカルイノベーション大学院プログラム

### ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

#### ディプロマ・ポリシー (DP)

疾患の克服と健康の増進は、より幸福度の高い未来社会を実現するために欠かすことのできない全世界共通の課題です。したがって、医療・ヘルスケア産業は、新興国を含め世界的に関心が高く、成長産業と位置付けられており、熾烈なグローバル競争が行われています。我が国の医療・ヘルスケア領域におけるイノベーションを加速し世界へ発信・展開するために、最先端の研究開発と社会実装を担う卓越人材の育成システムを戦略的に構築することが重要です。本プログラムは、京都大学の医学・薬学・保健学分野の教職員のみならず学外連携機関、産官学の講師からの専門的な指導により、グローバルな視点を持ち産官学の密接な協働に寄与する医学・医療イノベーターを輩出することを目的としています。

そうした人材を育成するために、本プログラムでは、次の条件を満たした者をプログラム修了と認め、学位記に本プログラムの修了を付記します。

1. 所属する参画研究科・専攻に5年（3年次編入生は3年、4年制博士課程学生は4年）以上（短期修了の場合は当該研究科の定める期間以上）在学し、所定の課程を修め、かつ必要な研究指導を受け、博士論文の審査及び試験に合格すること。
2. 本プログラム在籍期間中に、プログラムの教育目的の下に設定された授業科目を履修して所定単位数以上を修得し、所定の活動を達成すること。また修了にあっては、次のような知識と能力の修得を目安とする。
  - a. 医学知識を十分に学修し、それぞれの専門分野の高度で実践的な研究能力を身につけ、高い倫理性と責任感を備えて推進・実施することができる。
  - b. 既存の研究領域や手法にとらわれず、新領域開拓やアプローチを創成する独自の思考・研究能力、グローバルな視点及びコミュニケーション力を身につけている。
  - c. 次世代医療の社会実装に向けた俯瞰的な視点を身につけている。

## カリキュラム・ポリシー (CP)

メディカルイノベーション大学院プログラムは、学生が①そのバックグラウンドや志向性に応じて、系統的な医学知識と高度かつ独創的な研究力を修得する、②国内外の産官学の第一線の人材からの指導を含む交流により、次世代医療の社会実装に向けた俯瞰的な視点を涵養するための教育システムを整備することを目的とし、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、以下の方針に基づいた教育課程を編成・実施します。

- ・ 社会人学生、留学生を含む学生が自身のバックグラウンドに応じて基礎医学の系統的な知識・考え方を修得するため、「解剖学」、「生理学」、「病理学」等の医学分野の科目を実施する。
- ・ 実践的な研究能力、俯瞰力、独創力、コミュニケーション能力を養成することを目的に、約 10 の専門領域コース別に、基礎-臨床横断型の英語によるコロキウム形式の講義・演習を実施する。
- ・ 学生への多様なキャリアパスを提示するとともに、次世代の医学・医療イノベーターに必要な専門知識やリーダーシップ、高い倫理性の修得を目的とした講義、ワークショップ形式の科目を実施する。
- ・ 国際的な視野と研究能力を涵養し、他者と協働しながら研究を推進する力を身につけるために、「インターンシップ（海外研究機関あるいは国内外企業）」または国内外研究機関等との「(異分野) 共同研究プロジェクト」を立案・実施することを課す。

学修成果は、研究企画、遂行能力や研究成果の論理的説明能力等の観点から評価します。

なお、教育課程の体系についてはコースツリーとして、各科目内容の詳細はシラバスにおいて科目ごとに明示します。

## アドミッション・ポリシー (AP)

我が国の医療・ヘルスケア領域におけるイノベーションを加速し世界へ発信・展開するために、最先端の研究開発と社会実装を担う卓越人材の育成システムを戦略的に構築することが重要です。本プログラムは、生命原理の追求とそれに基づく疾患研究に関する成果を、世界最高レベルの医療として速やかに社会へ還元するべく、基礎研究、トランスレーショナル研究、そして事業化の各ステージに分かれて個別に人材育成するのではなく、各ステージを横断して、医学・医療イノベーターを育成するための教育体制を用意しています。プログラムでは、学生が①医学分野の科目及び基礎-臨床横断型のコロキウム形式の講義・演習の履修を通して、そのバックグラウンドや志向性に応じた系統的な医学知識と高度かつ独創的な研究力を修得する、②国内外の産官学の第一線の人材からの指導を含む交流により、次世代医療の社会実装に向けた俯瞰的な視点を涵養することを目的とします。

本プログラムで望む学生像は以下のとおりです。

- ・本プログラムの目的に共感し、これを遂行するための基本的能力と教養、倫理性を兼ね備え、強い意欲を持って参加を希望する人
- ・専門分野及び関連する学術分野において必要な基礎学力を持ち、医薬学分野及び医薬学に関連する学際分野における問題解決に貢献し、新たな研究領域の開拓に役立てようとする意欲と積極性を持っている人
- ・将来国際的な場で活躍しうるための英語力・コミュニケーション力の基礎を有している人

プログラム履修者選抜では、学修を希望する専門分野の基礎学力、プログラムで学修するための基礎的能力、英語力の評価により選抜します。選抜は、願書、出身大学（大学院）の学業成績証明書等による書類審査の他、必要に応じて面接審査を行います。

なお、本プログラムには、医学研究科医科学専攻、人間健康科学系専攻、薬学研究科薬科学専攻、医薬創成情報科学専攻のいずれかの修士課程または医学研究科医学専攻、薬学研究科薬学専攻のいずれかの博士課程への入学が許可された者が応募できます。また、医学研究科、薬学研究科の博士後期課程への入学を許可された者がプログラム3年次への編入に応募することも可能です。